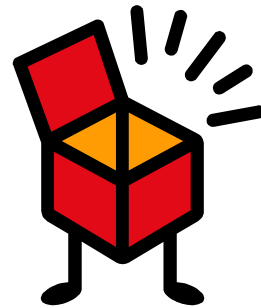


2005年度中間期決算



Materials Mag!c

 日立金属株式会社
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>
E-Mail : hmir@hitachi-metals.co.jp

各セグメントの事業構成(2005年度～)

高級金属製品

特殊鋼カンパニー

ロールカンパニー

日立ツールグループ

電子・情報部品

情報部品カンパニー
(情報通信部品・OEデバイス)

軟磁性材料カンパニー
(フェライト・ファインメット・アモルファス)

NEOMAXグループ
(硬質磁性材料)

高級機能部品

自動車機器カンパニー

配管機器カンパニー

日立機材グループ

サービス他

販売・サービス会社

その他製造会社

2005年度連結業績要約



(単位:億円、()内は当初予想対比)

	2004年度		2005年度					
	中間期	通期	中間期 予想 (05/7)	中間期 実績	前年 同期比	通期 予想 (05/7)	修正 通期予想 (05/10)	前年度 比
売上高	2,732	5,595	2,700	2,842 (+142)	104%	5,500	5,740 (+240)	103%
営業利益	193	404	190	209 (+19)	+16	400	430 (+30)	+26
経常利益	173	364	178	203 (+25)	+30	380	410 (+30)	+46
税前利益	169	295	146	155 (+9)	△14	337	360 (+23)	+65
当期利益	82	152	66	62 (△4)	△20	160	160 (±0)	+8
ROE(%)	10.6%	9.7%	8.0%	7.5%	△3.1%	9.5%	9.5%	△0.2%
設備投資額	115	256	150	126 (△24)	+11	300	300 (±0)	+44
減価償却費	110	229	110	104 (△6)	△6	235	230 (△5)	+1
研究開発費	49	99	55	59 (+4)	+10	110	120 (+10)	+21

1

売上高は前年同期度比4%増、110億円増加

高級金属製品 18%増、電子・情報部品 横ばい
高級機能部品 6%増

- ・エレクトロニクス関連製品に一部調整の動きが見られたものの、全体的に旺盛な需要で推移
- ・海外売上高比率 39%
- ・新製品売上高比率25%

2

営業利益は前年同期比8%増、16億円増加

高級金属製品 +7億円、電子・情報部品 +17億円
高級機能部品 △4億円

- ・原材料価格高騰による圧迫要因があったものの、操業の好調が持続
- ・高級機能部品は増収減益

2005年度連結業績見込のポイント

■売上高 5,740億円（前年度比 3%増、+145億円）

- ・高級金属製品 18%増、電子・情報部品 横ばい、高級機能部品 4%増
- ・エレクトロニクス関連に一部調整色があるものの、自動車関連は好調が続くと見ており、全体的な需要は引き続き高い水準で推移する見込み

■営業利益 430億円（前年度比 +26億円）

- ・高級金属製品 29億円増、電子・情報部品 32億円増、高級機能部品 10億円減
- ・原材料価格高騰による影響は継続

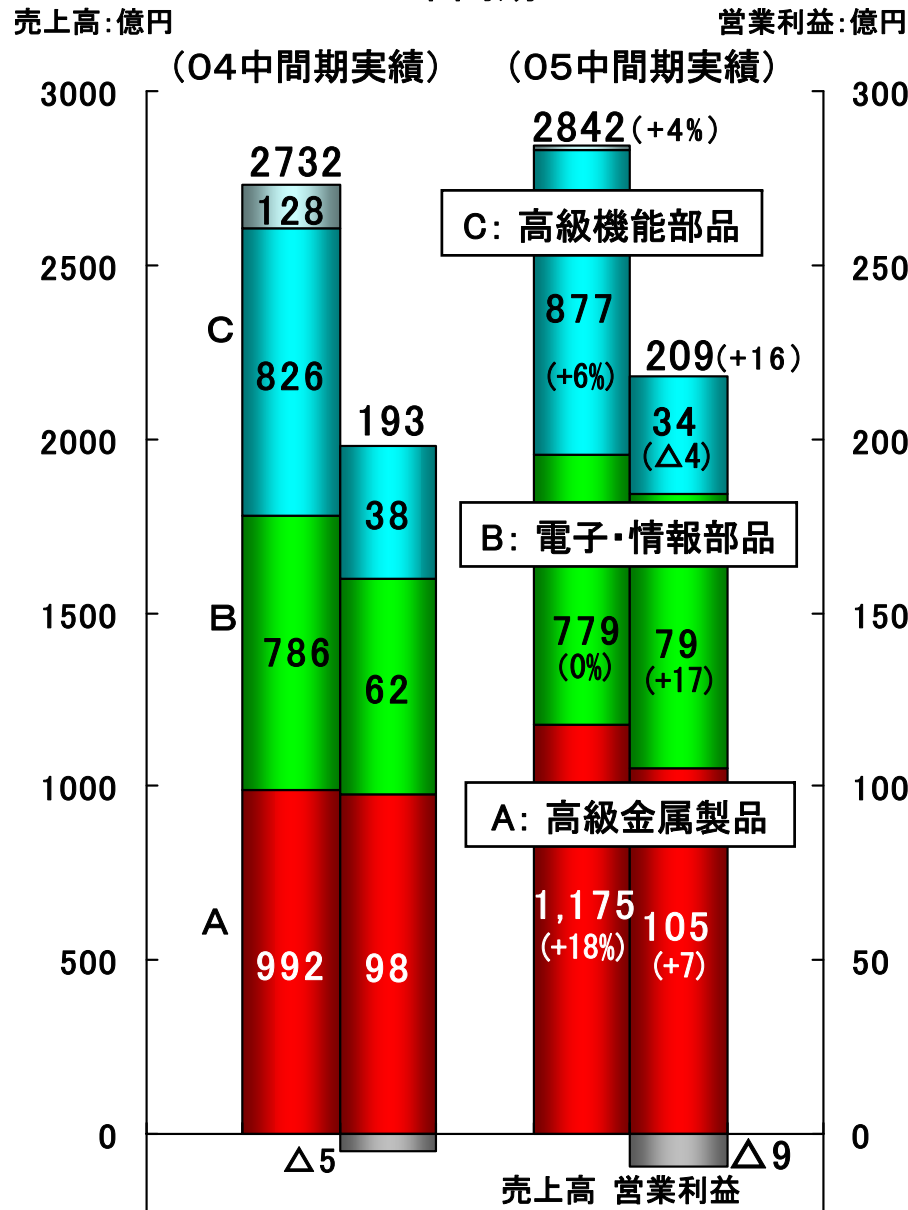
■特別損益 △50億円（前年度比 +19億円）

- ・上期に減損会計の適用損失16億円計上
- ・通期では、事業構造改革費用なども合わせ、50億円の損失計上となる見込み

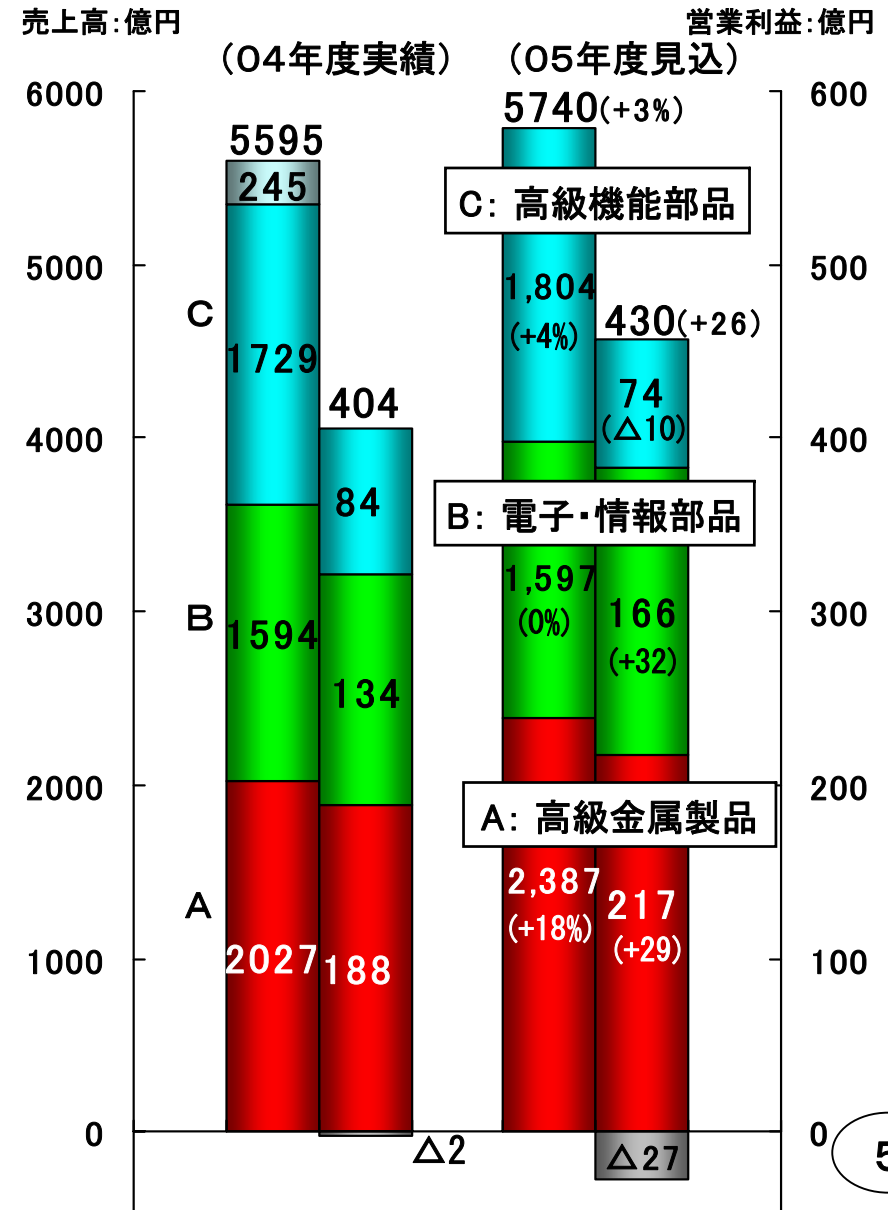
連結セグメント別売上高・営業利益



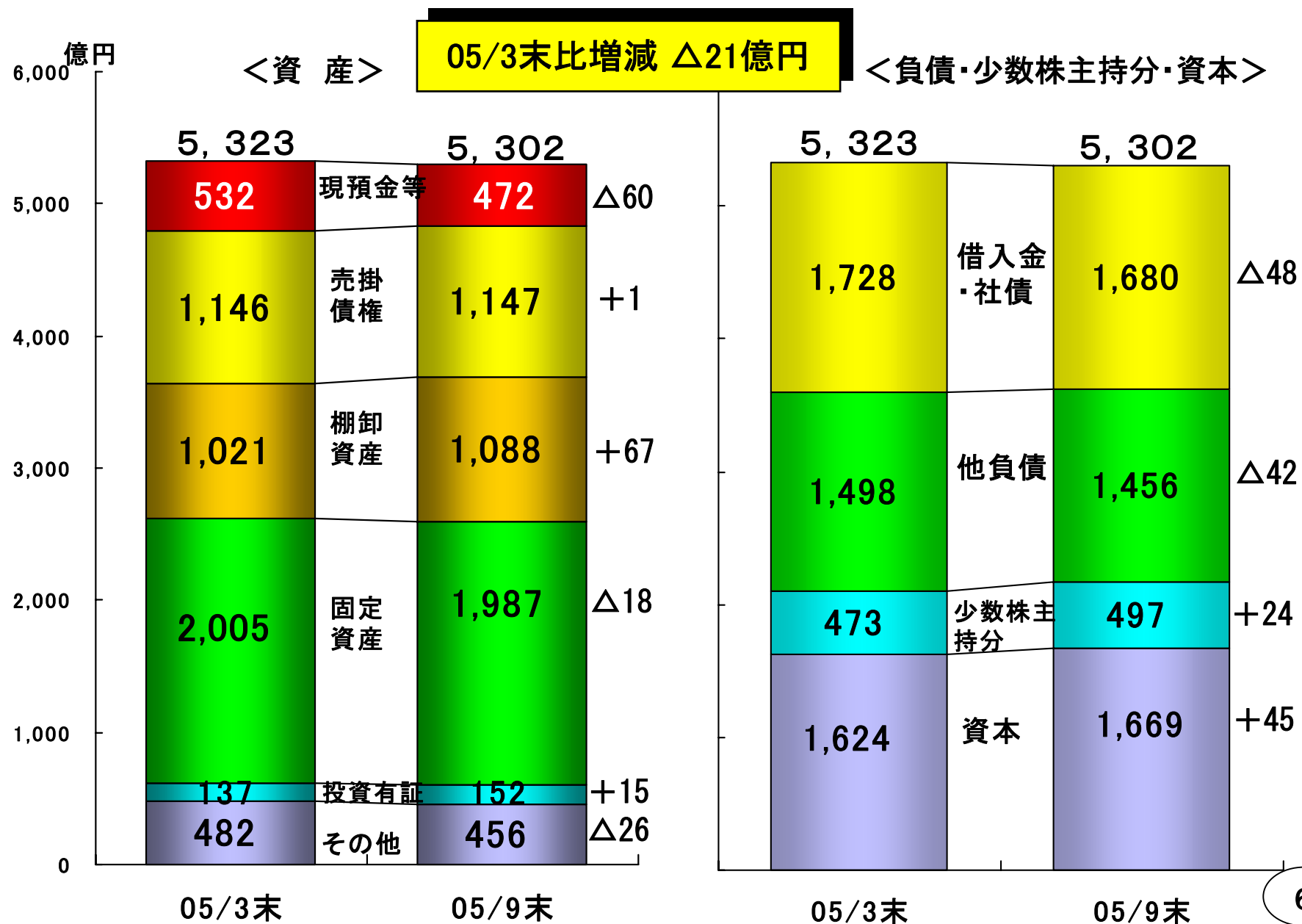
<中間期>



<通期>



連結B/S残高

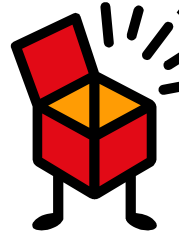


連結キャッシュ・フロー



(億円)

科 目	04年度 中間期	05年度 中間期	04年度
税金等調整前当期利益	169	155	295
減価償却費	110	104	229
設備投資	△104	△124	△245
その他	△135	△114	△99
フリーキャッシュ・フロー	40	21	180
借入金・社債の増減	△36	△48	△120
配当金支払他	△20	△38	△62
換算差額	4	7	3
増加額または減少額合計	△12	△58	1



本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となる主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動